

当院の医師を紹介します

当院で一番のベテランである内科の長谷川勝美医師。
いつも優しい笑顔で患者さまやスタッフの心を癒して
くれます。専門の医療分野のほか、多彩な趣味に
ついてもお話を伺いました。

Topics



はせがわ かつみ
長谷川 勝美 医師

名古屋大学・大学院卒 医学博士
病気のことは、いつでも相談してください。

— 先生のご出身はどちらですか。

長谷川：神奈川県横浜市です。出港の汽笛の音が懐かしく思い出されます。今は名古屋市内に妻と2人暮らしです。息子夫婦が近所に住んでいて、孫がとてもかわいいです。

— 当院に入職されて15年になりますが、入職当初の印象はいかが

でしたか。

長谷川：1996年に入職しましたが、それ以前にも7年間、ここに勤務していたことがあります。20年ぶりに戻ってきたとき、変わりがなく当時の職員が働いていて驚きました。

— 医師を志したきっかけは？

長谷川：小学校4年生のときに

飼っていたウサギが死んで、生命の不思議を感じたからです。

— もし、医師になっていなかったら、何になりたかったですか。

長谷川：医師しか考えていませんでしたね。

— 先生の専門分野について詳しくお聞かせください。

長谷川：今は一般内科を診ています。最初に血栓性動脈炎や動脈硬化症を対象とする血管外科に3年、病理学に4年携わりました。現在は内科全般の診察をしています。呼吸器内科でじん肺を専門に診ていたこともあります。

— プライベートでは、登山が趣味と伺っています。おすすめの山はありますか。

長谷川：近場でいいところは御在所です。初心者から上級者まで年

中登山できます。高山植物のお花畑を見たい方は、北岳や白馬岳などがおすすめです。景色なら上高地がいいかなあ。

— 最近のマイブームは？

長谷川：紅茶を自分で入れて味わって飲むのが好きです。セイロン産やインド産の新茶を買って楽しんでいます。自分で入れるのが一番好きですが、鳥羽国際ホテルや蒲郡プリンスホテルの紅茶もおいしいと思います。茶葉がホップ（対流）するのが大切なので、ティーバッグより茶葉で入れたほうがおいしく飲めます。志野流の茶道と香道を習っていたこともあります。20歳の時に買った仏像の本に感銘を受けて以来、奈良の古寺めぐりも好きになりよく訪れます。



患者さまの声

主治医として良き地域の先生に出会えました。私たち患者の話を聞いてくださる姿勢、心配事を受け入れ、的確なアドバイス、納得できるよう話をしてくれ、時にお叱り、時に「ハハハ」と笑い飛ばし、それが励みになるんですね。適切な治療に安心感が持て、何よりも信頼感がとても大きいです。診察の時に言われた「少しでも気になることがあれば、いつでもいらっしゃい」という言葉を私は忘れません。



話をよく聞いてくれるので安心して診察を受けられます

(豊田市在住 Y.K 様)